

【基本的な考え方として出されたご意見】

東部地域一体でのまちづくり

○ 桃花台 NT と周辺地域の連携・融合 ※ 桃花台 NT (純住宅) のみでの課題解決は困難

柔軟性・可変性を持ったまちづくり

○ 将来を見据え、長期的・短期的な課題に柔軟かつ可変的に対応する

地域住民による自立したまちづくり

○ 取組のスタートアップから一定期間後は行政支援から自立した地域住民による取組となる仕組みの構築

【東部地域の強み・弱み】

	□ 強み	■ 弱み
住む・暮らす	① 子育て環境の充実 ② こどもを中心としたまちづくり	① 若年世代の転出超過 ② 児童生徒の減少 ③ 高齢化の進展 ④ 買い物難民の発生の可能性 ⑤ 公共交通の脆弱
働く	③ 働く場所の存在 ④ 桃農家などの家業の存在	⑥ 農家など家業の担い手の減少 ⑦ 多様な働き方への対応
既存ストック	⑤ 充実した都市インフラによる暮らしやすい NT の存在	⑧ 空き施設の存在 ⑨ 空き家・集合住宅の存在 ⑩ 空き地の存在
資源	⑥ 多くの市民活動団体、NPO の存在 ⑦ まちづくりへ関心のある住民 ⑧ 観光資源の存在 ⑨ 特産品の存在 (桃などの果実、名古屋コーチンなど) ⑩ 豊富な自然環境の存在 ⑪ 大学・企業等の存在	⑪ まちづくり資源の掘り起こし
情報発信	⑫ 地域ブランド戦略の推進 ⑬ SNS の活用	⑫ 地域の魅力の発信方法
地域協働	⑭ 地域協議会の活動 ⑮ こどものまちづくり参加	⑬ 住民のホスト意識によるまちづくり ⑭ 産学官連携